



## 令和元年度事業計画（案）

## 1 認知度向上・観光資源との結びつけ

## (1) 魅力に関する情報発信



<b>①ホームページによる情報発信</b>	
・群馬の山旅（稜線観光HP）	・ぐんま県境稜線トレイルポータルサイト
<b>②ルートマップ増刷</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体版（30,000部）</li> <li>・エリア別（5エリア×5,000部）</li> </ul>	
<b>③オリジナル記念グッズの作成・頒布</b>	
・タオル、手ぬぐい（地元土産店や山小屋での有償頒布を予定）	
<b>④協賛金募集活動</b>	
・企業、団体等から随時募集（ホームページやルートマップ等に広告掲載）	

## (2) 関係者が連携したPR

<b>①稜線観光ガイドブック、観光誘客動画作成（県事業）</b>	
・ファミリー向けガイドブック（8月納品）	・動画：7月撮影（野反湖）、秋完成
<b>②旅行会社への販売プロモーションの実施（県事業）</b>	
・首都圏エージェンツ訪問（随時）	・ファミトリップ（9月予定）
<b>③各種イベント・広報媒体におけるPR</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・機会を捉え、随時PR</li> </ul> <p>[これまでの主なイベント]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・5月14日 群馬DC全国宣伝販売促進会議</li> <li>・6月8～9日 ぐんま山フェスタ</li> </ul>	<p>[群馬DC全国宣伝販売促進会議でのPR]</p> 
<b>④稜線トレイルツアーの開催</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・三壁山～カモシカ平のニコウキスゲツアー（7月・中之条町観光協会）</li> <li>・山の日イベント（8月・みなかみ町、嬭恋村）</li> </ul>	


## 2 安全対策

### (1) 安全情報の提供・意識啓発


<b>①トレイル安全等確認調査</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>全線及びアクセス登山道を対象に倒木や道崩れ等を調査。結果は関係機関で共有し、ホームページで情報提供（調査時期：7月～10月に複数回）</li> </ul>	
<b>②谷川岳・野反湖周辺における安全登山情報提供</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>谷川岳登山指導センター（常駐）</li> <li>野反湖登山口（7月からの土日早朝）</li> </ul>	
<b>③アプリによる登山計画書提出促進活動</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>COMPASSアプリ〔日本山岳ガイド協会〕の普及 〔主な機能〕 登山届の提出、下山確認、スマート山岳道標との連動による遭難者の位置特定、遭難者情報の関係機関への提供（全国の自治体や警察と協定締結）</li> </ul>	
<b>④安全登山講習会</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>県内アウトドアショップ等と連携し随時開催</li> </ul>	<p>[令和元年5月に実施した講習会]</p> 
<b>⑤専用ホームページによる迅速な安全情報の提供</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>専用ポータルサイト開設（6月）。登山者のSNSからの情報を迅速に提供 〔トップページ（イメージ）〕</li> </ul>	
	<p>〔主な掲載情報〕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全登山情報（危険箇所等）</li> <li>ぐんまの山のグレーディング</li> <li>COMPASS（登山届）</li> <li>携帯電話通話可能エリア情報</li> <li>季節のフォトギャラリー</li> <li>トレッキング投稿日記 など</li> </ul>

### (2) 安全性向上のためのハード整備

#### 〔新規開通区間〕

<b>①避難小屋の設置（県事業）</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>中間点のムジナ平（付近に水場あり）に設置（工期：～9月末）</li> </ul>	
<b>②スマート山岳道標の運用</b>	
<ul style="list-style-type: none"> <li>7箇所（遭難者の位置特定に活用）</li> </ul>	

[全線を対象]

<b>③位置ナンバー標識設置</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・救助位置を特定するための位置ナンバー (全線完了予定：～8月)</li><li>・300～500mごとに立木に巻き付ける形で設置</li><li>・設置箇所を地図上に落とし込み、ポータルサイトで公開</li></ul>	
<b>④既設登山道の木道等再整備（県事業）</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・R元年度施工箇所：四阿山（婦恋村）、山田峠（草津町）</li></ul>	
<b>⑤携帯電話不通エリアの解消に向けての働きかけ</b>	
<ul style="list-style-type: none"><li>・NTTドコモは調査・公表済。他社も含め、継続して整備、調査、公表を働きかけ</li></ul>	

(3) 捜索・救助体制の整備

<b>①関係機関による現地合同調査</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・警察や消防、県、町村の職員で実際に稜線を歩き、あらかじめ危険箇所を確認（7～9月予定）</li></ul>
<b>②捜索救助関係者向け講習会</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・警察や消防の職員を対象に、登山安全にかかる講習会を開催</li></ul>
<b>③新規開通区間における捜索・救助体制の構築・運用</b>
※ 別紙1